

関係各課に回覧をお願い致します

--	--	--	--	--	--

# 平成20年度 樹木と緑化の総合技術講座

開催日：前期講座 平成20年7月8日(火)～7月11日(金)  
国立オリンピック記念青少年総合センター  
後期講座 平成20年9月9日(火)～9月12日(金)  
(財)筑波学都資金財団・筑波研修センター  
筑波大学構内

主 催 財団法人 日本緑化センター  
協 賛 社団法人 日本造園建設業協会  
社団法人 日本植木協会  
日 本 樹 木 医 会

# 平成20年度 樹木と緑化の総合技術講座のご案内

近年、社会環境が激しく変動する中で、求められる緑地の状態もCO<sub>2</sub>削減や生物多様性の保全など大地域で考えるレベルのものから、身近な空間の防災、環境保全、景観アメニティを考えるものまで非常に多様化しております。このような新しい変化に迅速に対応していくため、緑化樹木についての科学的知識と緑化に関する最新の知見に裏打ちされた総合的な企画力と実践力が必要です。樹木に関する最新の知識・技術を学ぶ場として、日本の緑化分野の最先端で活躍されている方々を講師に迎え開催することになりました。社員教育あるいは自己研鑽の場として絶好の機会です。是非ご参加されますようご案内申し上げます。

## 1. 開催日時・場所

本講座は前期と後期に分けて開催いたします。

### (1) 前期講座

1) 日時：平成20年7月8日(火)から7月11日(金)まで

2) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1 (TEL. 03-3467-7201)

### (2) 後期講座

1) 日時：平成20年9月9日(火)から9月12日(金)まで

2) 場所：(財)筑波学都資金財団・筑波研修センター

茨城県つくば市天久保1-13-5 (TEL. 029-851-5152)

筑波大学構内

茨城県つくば市天王台1-1-1 (TEL. 029-853-2555)

## 2. 講座スケジュール

平成20年度樹木と緑化の総合技術講座スケジュール及び講座概要(P.3~6)のとおりです。

## 3. 受講料 1~3日間受講 18,000円/日 4~8日間受講 15,000円/日

※ 受講は1日単位でお願いいたします。

※ 全科目受講の場合であって社員研修として受講される場合は、同一会社内で受講者の交代が可能です。

※ 日本緑化センター評議員及び賛助会員の受講料は上記受講料の2割引きです。

※ テキスト代を含みます。

#### 4. 講座修了証の交付

全科目修了者に対しては日本緑化センター会長から「樹木と緑化の総合技術講座修了証」を交付します。

#### 5. 受講の助成

##### ○ キャリア形成促進助成金制度

社外研修の一貫として本講座を一定時間（10時間）以上を受講される場合は、ご検討をお勧めします。所定の要件が揃えば手続きにより給付金が受けられます。

（雇用・能力開発機構 都道府県センター TEL. 0570-001154<sup>いいこよう</sup>）

（雇用・能力開発機構 <http://www.ehdo.go.jp/>）

##### ○ 人材投資促進税制

この税制は、従業員等の教育訓練に積極的に取り組む企業・個人事業者について、教育訓練費の一定割合を法人税・所得税から税額控除するものです。

[http://www.meti.go.jp/policy/jinzai\\_seisaku/jinzaitoushi\\_zeisei.htm](http://www.meti.go.jp/policy/jinzai_seisaku/jinzaitoushi_zeisei.htm)

#### 6. 定員 前期100名・後期60名(先着順)

#### 7. 宿泊

前期講座に参加される方は、各自、最寄りのホテル等をご利用下さい。

東京会場内にユースホステル(<http://www.jyh.gr.jp/yoyogi/>)が併設されています。

後期講座に参加される方は、筑波研修センターの宿泊施設（個室）を利用することができます。

同センターの宿泊料金は1人1泊素泊まりで3,600円です。

#### 8. 参加申込み

参加ご希望の方は、「参加申込書」に所定の事項をご記入の上、平成20年6月13日(金)までに、FAX または郵便またはEメールにてお申し込み下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

#### 9. 申込み・問合せ先

財団法人 日本緑化センター 企画広報室 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル  
TEL. 03-3585-3561/FAX. 03-3582-7714/Eメール kohou@jpgreen.or.jp

# 平成20年度 樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

<前期>

国立オリエント記念青少年総合センター・代々木公園

時刻 月日	9		10		11		12		13		14		15		16		17	
	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30
7月8日 (火) 3 1 1							受付		開講式		12:45～14:45 生き物を取り扱う技術の意義 福田 健二 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授)		休憩		15:00～17:00 樹木と温暖化ガスの吸収固定 森川 靖 (早稲田大学人間科学部 教授)		交流会 (2時間) レストラン「とき」	
7月9日 (水) 3 1 1			9:45～11:45 樹木の構造と生理 福田 健二						12:45～14:45 造園分野における草本植物の 取扱いについて 近藤 哲也 (北海道大学大学院 農学研究科 教授)				15:00～17:00					
7月10日 (木) 3 1 1			9:45～11:45 土壌動物と土壌の形成 福山 研二 (独)森林総合研究所 研究コーディネータ)				昼食		12:45～14:45 松枯れとマツ材線虫病の メカニズム 田畑 勝洋 (岐阜県立森林文化アカデミー講師)		休憩		15:00～17:00					
7月11日 (金) 3 1 0			9:45～11:45 樹木の分類 濱野 周泰 (東京農業大学 地域環境科学部准教授)						12:45～14:45 森林生態と物質循環 只木 良也 (名古屋大学名誉教授)				15:00～17:00				17:00～ 閉講式	

※講師については当日一部変更することもあります。ご承知おき下さい。

講義科目・講師名	講義のポイント
生き物を取り扱う技術の意義 福田 健二 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)	樹木は進化の積み重ねによって形成されてきた生態系の中にあり、多様な環境要因の影響を受けながら生存している。生き物を取り扱う技術の根底には、そうした樹木の生存戦略がある。
樹木と温暖化ガスの吸収固定 森川 靖 (早稲田大学人間科学部教授)	これからの環境緑化を考える上で、内外の森林の推移や地球温暖化対策に関する国際的な枠組み、地球上の炭素の分布・炭素収支などを知ることは極めて重要である。
樹木の構造と生理 福田 健二	樹木を構成する組織の構造とその特徴、光合成や樹木体内の水分の移動、呼吸など樹木が生きていくたのメカニズムを学ぶ。
造園分野における草本植物の取扱いについて 近藤 哲也 (北海道大学大学院農学研究院教授)	一部の外来植物が地域の固有の植生に与える影響が生態学的な視点から取り沙汰されている。植生管理の基本原則、自生種を取り扱う際の留意点など、またイングリッシュガーデンについても学ぶ。
土壌の診断 高橋 正通 (独)森林総合研究所立地環境研究領域長)	樹木にとって土壌は成育の基盤であり、その性質は成長を左右する。土壌のでき方、わが国の土壌の分類、土壌診断調査の方法、樹木の成長と土壌の物理的環境、化学的環境への意味等を学ぶ。
土壌動物と土壌の形成 福山 研二 (独)森林総合研究所研究コーディネータ)	樹木の成育には、土壌の化学性や物理性が影響するが、それらを決定づける土壌動物の種類、現存量、落葉などの分解活動を知ることは、樹木の育成管理上大切である。
松枯れとマツ材線虫病のメカニズム 田畑 勝洋 (岐阜県立森林文化アカデミー講師)	日本の松は衰退・消失の危機にあります。松枯れの原因の一つである、マツ材線虫病について科学的に分析し、そのメカニズムなどを知ることは極めて重要である。
菌根菌と樹木の健康 岡部 宏秋 (元)独)森林総合研究所微生物生態研究室長)	植物と菌根菌とは、互いに物質交換しながら共生している。それらの形やメカニズムを知ることは、樹木を健康に育成管理する上で極めて重要である。
樹木の分類 濱野 周泰 (東京農業大学環境科学部助教授)	樹木の種類と特徴を知ることは、緑化木を取り扱うものにとって不可欠の知識である。樹木と草本との違い、落葉の形式や生活形、葉の形状の違いなど、樹木の分類の基礎を学ぶ。
森林生態と物質循環 只木 良也 (名古屋大学名誉教授)	樹木のふるさと森林は、多様な生物で構成されており物質循環を通じた植物、動物、微生物などの生物相互の結びつきで成り立っている。森林の自然循環システムを知ることにより、緑化樹木の育成に必要な知恵が得られる。
樹木の主な虫害と対策 牧野 俊一 (独)森林総合研究所森林昆虫研究領域長)	樹木の成育に害を与える主な虫の種類と生態、虫害の影響、その対策を学ぶ。

# 平成20年度 樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

<後 期>

(財)筑波学都資金財団・筑波研修センター・筑波大学構内・筑波実験植物園

時刻 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
9月9日 (火)	0 30	0 30	0 30	0 30	0 30	0 30	0 30	0 30	0 30
	13:15～14:15 14:15～17:00								
	受付				開講式				交流会 (2時間) 研修センター
	植栽基盤の調査・判定・試掘 講義・実習 長谷川 秀三 (ジオグリーディング(株)代表取締役) 場所：研修センター・筑波大学構内								
9月10日 (水)	9:00～12:30								
	樹木の病害診断と対策 窪野 高徳 (独)森林総合研究所森林病理研究室長 場所：研修センター								
9月11日 (木)	9:00～12:30								
	樹木移植の理論 堀 大才 (NPO樹木生態研究会代表理事) 場所：研修センター								
9月12日 (金)	9:00～12:30								
	樹勢総合診断 実習 堀 大才 場所：筑波大学構内等								
	13:30～17:00								
	樹木の虫害診断と対策 牧野 俊一 (独)森林総合研究所森林昆虫研究領域長 場所：研修センター・筑波実験植物園								
	13:30～15:45				休憩				16:00～17:00
	樹木剪定の理論 堀 大才 場所：研修センター				樹勢総合診断 講義 堀 大才 場所：研修センター				
	13:30～16:00								
	緑化樹木・技術に関わる 最近の問題と課題 細野 哲央 (千葉大学大学院 園芸学研究所博士研究員) 場所：研修センター								
	16:00～16:30								
	閉講式 (修了証書授与)								

※講師及び場所については当日一部変更することもあります。ご承知おき下さい。

講義科目・講師名	講義のポイント
植栽基盤の調査・判定・試掘 長谷川 秀三 (ジオグリーンテック(株)代表取締役)	樹木の育成管理の基本は、土壌にある。豊かな経験をもとに最新の土壌調査法や結果の評価・判定のポイント、増加する人工地盤の問題などを解説する。
樹木の病害診断と対策 窪野 高德 ((独)森林総合研究所森林病理研究室長)	樹木の成育環境の悪化が進む中で、さまざまな病気が進行している。樹木の成育に害を与える主な病原とその生態、病害発生メカニズム、病害をさけるための対策などを学ぶ。
樹木の虫害診断と対策 牧野 俊一 ((独)森林総合研究所森林昆虫研究領域長)	緑化木に発生する虫害の診断のポイント、その対策は何か。豊富な経験をもとに、木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを直接見ながら学ぶ。
樹木移植の理論 堀 大才 (NPO法人生態研究会代表理事)	樹木の移植の基本原理は何か。樹木の種類や性質、現地の気象や地盤、土壌などの環境条件にあわせて、どのような移植方法を選択すべきか。
樹木剪定の理論 堀 大才	緑化木の成育環境が悪化する中で、景観・安全と樹木の健康を両立させる剪定はどうあるべきか。新しい知見に基づく剪定の基本原理は何か。また剪定の種類、技法、留意点はどうあるべきか。
樹勢総合診断 堀 大才	樹木の健康度・衰退度・危険度の決め手となる診断項目毎の判定指針、カルテの作成方法、総合判定のあり方について実習し、その結果をもとに討議する。
緑化樹木・技術に関わる近年の課題と対策 細野 哲央 (千葉大学大学院園芸学研究科博士研究員)	最近の樹木の成育環境の悪化、植栽管理技術の低下など、樹木の育成管理を巡る問題点と改善策について、また街路樹の安全管理について学ぶ。

# 平成20年度 樹木と緑化の総合技術講座

## 【 参 加 申 込 書 】

機関名(会社名)	所属部・課	ふりがな 氏 名	受講期間										
			全 コース	1日コース									
				7月(前期)				9月(後期)					
				8 日	9 日	10 日	11 日	9 日	10 日	11 日	12 日		

※受講期間の欄には○印をご記入下さい

※1日コースのお申込は1日単位となります

(平成 年 月 日)

ご住所(会社・自宅): 〒

(TEL )

(FAX )

(Email: )

講座事務局 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル2F  
財団法人 日本緑化センター 企画広報室  
TEL 03-3585-3561  
FAX 03-3582-7714  
Email kohou@jpgreen.or.jp